

大津市プラスチックごみ削減勉強会 2024年上半期 活動報告

報告者：松村順子

1. 広報活動

特別展として、設立以来の活動報告と提言をまとめたパネル、プラごみクイズ、実物大の種類別プラごみ見本などを展示した。3つの展示会場にそれぞれの特徴にあわせた展示に務めた。直接来場者との対話は少なかったものの、会場に設置したポストイットにはたくさんのご意見をいただくことができた。励ましの言葉や参考になるご意見も書かれていて、今後の活動の参考にしたい。

特別展#1 (2月11日～26日) 会場：ウォーターステーション琵琶 (来場者 355名)

特別展#2 (3月22日～4月1日) 会場：平和堂堅田店展示コーナー

特別展#3 (6月1日～6日) 会場：大津市役所ギャラリー

(参照) 特別展報告書



特別展#1

(ウォーターステーション琵琶)



特別展#2

集まったご意見⇒

(平和堂堅田店展示コーナー)



特別展#3

(市役所ギャラリー)

*特別展以後の展示・・・会場に合わせたパネルを特別展のパネルから選び展示をした。

パネル展示 (11月16日) エコフェスタ 会場：あいこうか市民ホール (参加メンバー：3名)

パネル展示 (9月6日) シン・びわ湖会議 会場：ピアザ淡海 (参加メンバー：6名)

パネル展示 (9月25日) ごみゼロ大作戦 会場：ピアザ淡海 (参加メンバー：4名)

2. 施設見学会

① 高島流域下水浄化センター・コンポスト化施設見学

(6月21日) (参加者：7名)

県内初めてとなる下水汚泥の有効利用としてのコンポスト化について講義を受けた後、現場と施設を見学。市民への配布が開始されたばかりの下水汚泥肥料を安価で買って帰った。



② 草津市エコスタイルプラザ見学

(10月15日)

(参加者：2名)

草津市焼却施設2階にある「草津市エコスタイルプラザ」は、焼却施設見学とともに、環境についての情報提供やエコ活動と環境学習の拠点になっている。広いフロアでは、ここを中心に市民に多目的で利用されているようだ。展示を見せてもらい、こどものエコクラブ活動の話などをお聞きした。今後の活動の参考にしたい。



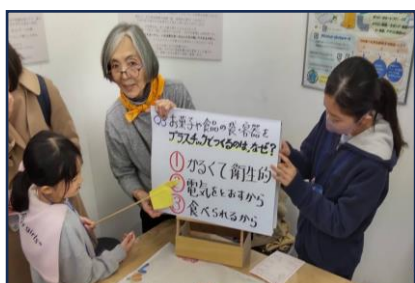
3. プラごみ削減行動のためのプラごみクイズを中心とした啓発活動

各会場に集まった幼児から小・中学生のグループで、15問ほどの簡単なクイズと質問アンケート形式の設問をとおした対話から、プラごみ削減に向けた意識づくりを試みた。プラごみクイズは前年のものから新しい内容にグレードアップさせたもの。どの子どもも熱心に参加してくれて、スタッフとのやり取りができた。どのイベントでも親子ともに勉強になったとの感想もいただいた。なかまちフェスではRキッズのメンバーがスタッフとして参加。大人顔まけの活躍ぶりだった。

- ① なかまち子どもフェス(6月21日) ・ ・会場：大津なかまち商店街 (参加者 50名)
(スタッフ 4名)
- ② 平和堂主催「びわ湖の日」イベント (6月30日) ・ ・会場：平和堂堅田店 (参加者 50名)
(スタッフ 4名)
- ③ 第17回水辺の匠 (7月21日) ・ ・会場：ウォーターステーション琵琶2階 (参加者 130名)
(スタッフ 5名)
- ④ おおつエコフェスタ 2024 (7月28日) ・ ・会場：ピアザ淡海ホワイエ (参加者 135名)
(スタッフ 6名)



なかまちフェス (3月20日)



平和堂・びわ湖の日イベント (6月30日)



第17回水辺の匠 (7月21日)



おおつエコフェスタ2024 (7月28日)



4. 公開講座等の開催

- ① 交流勉強会 テーマ：マイクロプラスチック問題
日 時 4月5日 10時～12時
会 場：市民活動センター中会議室
参 加：16名 (一般参加者8名、スタッフ8名)

*勉強会メンバーや参加者から提供されたマイクロプラスチックに関する情報を読み解き、それぞれの立場や考え方からの意見交換をした。ここで、情報発信が重要との意見がでたことから、ニュースレターを随時発行することになり、後日には、ニュースレター第1号「タイヤのマイクロプラスチック問題」を発行した。

② 公開講座

テーマ：ネオニコチノイド系農薬問題について学ぶ

日時：6月28日14時～16時30分

会場：大津市生涯学習センター会議室

講師：須戸幹さん（滋賀県立大学環境科学部教授）

参加者：26名（一般参加者18名、スタッフ8名）

*ネオニコチノイド系農薬をめぐる農業の現状と農薬の必要性と課題や有機栽培など、農業振興をめぐる専門的なお話をお聞きした。

（参照）講演会「ネオニコチノイド系農薬について学ぶ」報告書



③ 交流勉強会

テーマ：農業用プラスチック被覆肥料（一発肥料）のマイクロプラスチック問題

日時：10月11日（金）10時～12時

会場：市民活動センター

参加者：16名（レイカ大44期生卒業生8名、スタッフ8名）

*8月6日実施の「子どものマイクロプラスチック調査隊」に参加した際、湖岸でプラスチックの被覆肥料の殻（カプセル）が多数見つかったことから、レイカ大44期生が卒業研究として琵琶湖岸一周のマイクロプラスチック調査を実施し結果をまとめて報告した話を聞き、情報共有と意見交換をすることができた。この話をもとに、ニュースレター第2号「農業用肥料からのマイクロプラスチック問題」を発行、「マイクロプラスチック問題」のパネルを作成した。

5. 調査活動参加

県琵琶湖環境科学研究センター主催/子どもマイクロプラスチック調査隊

日時：8月6日（火）9時～12時

場所・会場：茶が崎の湖岸 琵琶湖大津館式場

参加者：子ども約20名 スタッフ12名（当会から6名参加）

*子どもたちが、採集した湖岸の砂からふるいで分けとって見つけたマイクロプラスチックを種類や大きさで分けて計数をし、マイクロプラスチックと琵琶湖について学ぶ活動の支援に参加した



調査隊活動への支援



湖岸の砂から採集



種類ごとに分け計数



採集したマイクロプラスチック

6. 連携づくり活動

- ① MLG s 協働テーブル会議 (6月27日) 会場：ピアザ淡海 (当会参加者：4名)
- ② MLG s シン・びわ湖会議 (9月6日) 会場：ピアザ淡海 (当会参加者：6名)
- ③ ごみゼロ大作戦・発表とごみ拾い (9月25日) 会場：ピアザ淡海+湖岸 (当会参加者：4名)
- ④ 水辺の活動交流会 (11月1日) 会場：ミシガン船内 (当会参加者：3名)



びわ湖会議



ごみゼロ大作戦



7. 川ごみ回収活動

- ① 長沢川清掃活動 3月15日(金) (参加者：2名)
- ② 千丈川清掃活動 3月21日(木) (参加者：3名)
- ③ 高橋川清掃活動 (リバプレ隊と合流活動) (参加者：6名)



長沢川



千丈川



高橋川

8. 親睦と研修を兼ねたその他活動

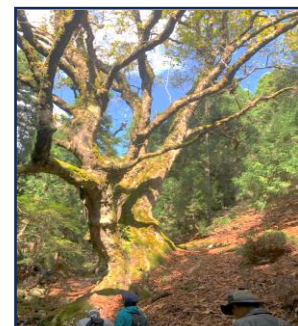
- ① 春日山ミツバチ養蜂施設見学 (5月27日) (参加者：8名)
- ② 湖南アルプス自然観察ハイキング (6月15日) (参加者：3名)
- ③ 湖北漁協の漁師さんに話を聞く会 (6月21日) (参加者：9名)
- ④ 栃ノ木まつり (主催：巨木と水源を守る会) (10月20日) (参加者：7名)



春日山のミツバチ見学



高島漁協での交流会



栃ノ木の見学